

校長室の窓から

平成31年1月

< 校訓 >

いのちを大切にしよう
きまりを守ろう
進んでことにあたらう
相手の立場に立って考えよう



平成31年(2019年)がスタートしました ～ 亥(イノシシ) ～

よいお正月、よい年を迎えたことと思います。

3学期始業式も予定通り実施できました。今年度は、台風等の自然災害により休校や予定変更を余儀なくされた場面が多かったので、予定通りに、いつも通りに進められることの大切さを身にして感じます。

新しい年のスタートではありますが、平成30年度のまとめの学期でもあります。気持ちを引き締めなおして毎日を過ごして行ってほしいと思います。

今年は、12干支の最後の亥(イノシシ)ですが、実は、亥(イノシシ)が一番最初にゴールした。

しかし、まっすぐ走ることしかできない性分なのでゴールを通り越してしまい、戻ってきた頃には他の動物に遅れを取って12番目になってしまったのだと言われています。また、「勇気と無病息災」の意味があるとも言われています。「無病息災」、亥(イノシシ)年にあやかって、健康で元気な毎日でありたいと思います。

…質量転化…

始業式で「一定量を積み重ねると、質(内容)が向上する」あまり聞き慣れない言葉ですが、「質量転化」ということについて話しをしました。「林修の初耳学」でも紹介された内容ですので、テレビで見たという人もいるかもしれません。「量が質を生む！最初の2年は学習の2年！進学校の学生はなぜよく勉強ができるか考えると、良い勉強方法を知っているというより基準が高い。彼らは周りがみんなものすごく勉強するから、それをあたり前だと思って同じように勉強する。効率とか質とかを考える前に圧倒的な量が彼らの偏差値をささえているのです。」ということも林先生はお話されていました。このことが全てではないと思いますが、私には「そうやな…」と、素直に受け入れられる内容ですが、みなさんはどう思いますか？

勉強に限らず仕事でもスポーツでも、経験のない、いわゆる初心者・新人がいきなり効率良くパフォーマンスを発揮するなんてできないですよね。経験があつてこそ偶然が生まれたり、まぐれ当たりが生まれたりするのだと思います。当然、量をこなせば質が高められるようになるにはある程度の期間が必要であり、苦しい・辛いと思う時があるのは確かです。でも、量をこなせばこなすほどスキルが上がるから、さらに質が上がっていく。質が上がるのとさらに多くの量がこなせるようになるという好循環になっていきます。苦しい時があるかもしれませんが、ここさえ乗り切れば、あとは昇り調子で進んでいくのにやめてしまうのはもったいないと思いませんか。

失敗は成功への近道 ～失敗の数は経験値の量になる、経験値がたまればスキルが向上する～

初めからうまくいく人はいない。失敗を経験値として、修正を加えたり、やり方を工夫したりして次に進んでいく。次もうまくいかなかったら、また、工夫して次に進んでいく、このくり返しです。失敗の数は経験値の量になり、量をこなして失敗すればするほど経験値がたまりスキルが上がる。失敗を重ねられる人が最後は成功するということも言われていました。

【卓球部】

兵庫県中学校卓球競技大会
男子ダブルス 第3位 北川 凌太郎・廣瀬 俊輔

【ソフトボール部】

第31回中学校女子1年生大会 第3位

【バスケットボール部】

摂津市女子バスケットボール部主催
第19回SWB杯交流試合 準優勝

1・17 防災訓練

阪神・淡路大震災 ～大きな揺れによる建物の倒壊、火災、ライフラインの遮断～

平成7年1月17日午前5時46分に発生しました。

24年前の1月17日に発生したわけですが、6,400人を超える人が尊い命を亡くされました。また、家屋が倒壊し、多くの人が生き埋めになったのですが、その生き埋めになった人の8割が近隣の人々に救出されたと報告されています。また、大勢のボランティアが活動し、ボランティア元年とも言われています。

東日本大震災 ～ 津波による被害 ～

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、揺れに加え地震後の巨大な津波により、家が押しつぶされ、産業が破壊され、大切な家族や友達を奪っていききました。

遠く離れた尼崎市でも大きな衝撃がありました。卒業式を終えて校長室の片付けをしている時に、突然すごい揺れを感じました。校長室の大きな金庫が動いてしまうほどの大きな揺れでした。テレビで流れるこれまで見たことない映像に言葉を失い、津波の恐ろしさを初めてわかった気がしました。

私たちは、この2つの震災の教訓を生かして、自分たちにできることは何なのかということをしっかりと考えて毎日の生活を送っていくかなければならないと思います。また、今年度は、北海道で大きな地震が発生しました。台風や大雨により大きな被害も受け、改めて自然の驚異を知った気がします。これまでの経験や教訓を「忘れない」「伝える」だけでなく、次の災害に「備える」ということも大変重要なことです。

まず、大切なことは「自分の身は自分で守る」ということですが、学校にいる時に災害が発生するとは限りません。登下校中、あるいは家に一人である時に発生することも考えられます。指示を受けてから動くのではなく、その時に自分でしっかりと判断して行動しなければならない状況も考えられます。災害に遭わないことが一番だと思いますが、いざという時には、慌てず、冷静に、そして、迅速に動くことが重要です。

今年度も、1・17防災訓練を実施します。訓練がその時だけで終わるのではなく、また、訓練だけで終わるのではなく「自分の身は自分で守る」ということの大切さを再認識し、災害遭遇時の心構えをしっかり和確立して行ってほしいと思います。



新生徒会執行部の活動がスタート

12月号で、新執行部のメンバーを紹介しましたが、3学期始業式・全校朝礼から活動をスタートさせました。認証書を受け取った後、一人一人が力強く抱負を述べ、1月全校朝礼を進行していきました。良き伝統は引き継ぎつつも、新しいことにも挑戦し、良いと思うことは積極的に取り入れて武庫東中学校がより良くなるように頑張っていってほしいと思います。やる気に満ちたそれぞれの顔を見て本当のたのもしく感じました。初心を忘れることなく、1年間しっかりと頑張ってください。期待しています！

豆知識(七草がゆ)

1月7日、人日(じんじつ)と言われ、五節句の一つで七草がゆを食べることから、七草の節句とも言われています。七草がゆは、邪気を払い万病を除く占いでして食べるという呪術な意味ばかりでなく、おせち料理で疲れた胃を休め、野菜の栄養素を補う効果もあると言われています。

◆春の七草:セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ

◆五節句:1月7日(人日)、3月3日(上巳)、5月5(端午)、7月7日(七夕)、9月9日(重陽)

また、爪切りの日、新年になって初めて爪を切る日。七草を浸した水に爪をつけて切るとその年は風邪をひかないと言われています。